

News Release

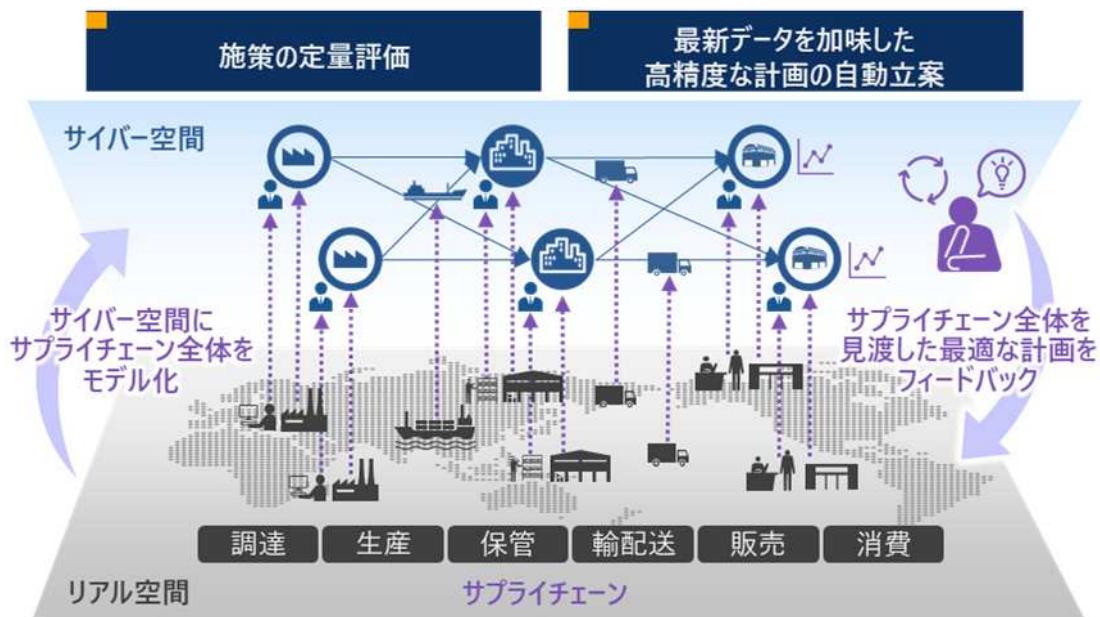


2024年 8月26日



アズワンと日立、サプライチェーン最適化シミュレーション基盤構築の検討開始

デジタル技術で迅速に高精度な計画・施策を自動立案



アズワン株式会社(本社：大阪府大阪市西区、代表取締役社長：井内 卓嗣／以下、アズワン)と株式会社日立製作所(本社：東京都千代田区、執行役社長兼 CEO：小島 啓二／以下、日立)は、サプライチェーン全体の最適化を支援するシミュレーション基盤(以下、本基盤)の構築に向けた検討を開始しました。すでに PoC(概念検証)に着手しており、今年 9 月末まで、複数の物流センターおよび代表的な品目を対象に各種データを活用し、本基盤導入によるアズワンユーザーの利便性向上の効果検証を実施します。

本基盤は、サイバー空間上にサプライチェーン全体をモデル化(デジタルツイン化)し、再現することにより、受注から調達・出荷・配送までの各種データを活用した施策評価や日々の最新データを加味した高精度な計画の自動立案を行います。具体的には、市場環境の変化に追従した需給調整案

や輸送条件の変化などに即応した物流拠点変更案などの施策評価、仕入先への生産要求や適切な在庫計画などの自動立案が可能です。なお、本基盤は、流通業や製造業などに導入実績がある日立の Lumada*1 ソリューション「サプライチェーン最適化サービス*2,3」を活用しています。

アズワンと日立は、物流の 2024 年問題もあり、輸配送における無駄の排除を喫緊の課題とし、自社だけではなくサプライチェーン全体を捉えて検討する必要があると考え、本基盤の構築に向けた取り組みを開始しました。さらには、アズワンは受注・発注・出荷・売上などの膨大なトランザクションデータに加え、1,000 万点を超える取扱商品のデータベースなどのさまざまなデータを保有しており、それらの活用による業務の高度化をめざしています。2025 年度中にそれらのデータと本基盤を連携させ、全拠点・全品目を対象としたサプライチェーン全体の最適化をめざします。

アズワンは、今後も変化していく市場環境に対して、課題をいち早く把握し、課題解決に向けた取り組みを先んじて推進することにより、ユーザーへの利便性を追求していきます。

(注)

*1 Lumada：お客様のデータから価値を創出し、デジタルイノベーションを加速するため、日立の先進的なデジタル技術を活用したソリューション・サービス・テクノロジーの総称 <https://www.hitachi.co.jp/products/it/lumada/>

*2 日立の計画最適化ソリューション

<https://www.hitachi.co.jp/products/infrastructure/portal/industry/optimization/index.html>

*3 日立のサプライチェーン最適化サービス <https://www.twx-21.hitachi.ne.jp/contents/service/sco/index.html>

■お問い合わせ先

アズワン株式会社 広報 IR 部

TEL : 06-6447-8821

Mail:asone_ir@so.as-1.co.jp

〒550-8527 大阪府大阪市西区江戸堀二丁目 1 番 27 号

株式会社日立製作所 インダストリアルデジタルビジネスユニット お問い合わせフォーム

<https://www8.hitachi.co.jp/inquiry/industry/jp/general/form.jsp>

以 上